

8 インドネシア

ジャワ・バリ送電線・変電所整備事業(東部ジャワ)(I)(II)



本事業により設置された変圧器

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	14,533百万円 / 6,459百万円
借 款 契 約 調 印	1991年9月 / 1992年10月
借 款 契 約 条 件	金利2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1997年10月 / 2001年2月

[事 業 概 要]

(第1期)既に電化された地域の電力需要の増加に対応し、新規の需要家への電力供給、送電系統の信頼度の強化を図るもの。

(第2期)東部ジャワ地域におけるグレシック及びパイトンの両大型発電所の建設にあわせ、2次系統以降の電力流通設備を拡充・増強し、東部ジャワ地域の電力安定供給及び供給信頼度の向上を図るもの。

[評 価 結 果]

本事業により、既設変電所・中圧変圧器の機能拡充、変電所・送電線の新設が実施された。本事業の変電容量増加分(1,470MVA)は、東部ジャワ地域における変圧器整備容量の約16%、稼動している変圧器台数の約21%を占めている。本事業により変圧器の容量が増強され、過負荷運用が緩和されたことなどから、東部ジャワ地域の停電回数・時間は、過去10年間で大幅な改善が見られる。よって本事業は、同地域の電力需要の増加と供給信頼度の向上に貢献したと言える。

実施機関である国营電力公社(PLN)は近年、組織再編成等の経営効率化を図っているが、本事業の持続性に特段の問題は見受けられない。